

# あれこれファレンス



ミニ図書館だより【なんでも質問箱】

No. 198

平成27年2月1日

熊本県立図書館発行

## “レファレンスサービス”ってなに？

図書館で所蔵しているたくさんの資料を活用して、皆さんが調査したい内容をより早く正確に調べられるようお手伝いするサービスのことです。

この「あれこれファレンス」では、過去に受けたさまざまなレファレンスの中から、いくつかの興味深い事例をピックアップして紹介します。へえ～こんな質問も図書館で分かるのか！と、楽しめること間違いなしです。

### Q. おたずね

地元の嘉島町に“足手荒神さん”と呼ばれている神社があります。その神社の由来を調べたいのですが、どんな資料がありますか。



### A. こたえ

「足手荒神」とは「手足の疾病や怪我の平癒のために祈願される神」とのことです。今回お尋ねの「足手荒神」は上益城郡嘉島町上六嘉にある「甲斐神社」のことです。地元の人だけでなく遠方からの参拝客が多い神社で、特に毎年2月15日は例大祭が行われ、当日はたくさんの方で賑わいます。参拝する人は板で作った手足型を供えて祈願します。実際に神社を訪れると手足型の板、病の平癒に感謝して供えられた手足のギプスや装具などがたくさん積み重なっているのを見ることができます。

さて、この「甲斐神社」の由来は戦国時代までさかのぼります。天正15年（1587）肥後国人一揆にて敗走した甲斐宗立が、手足に深手を負いながら居城である御船城へ戻る途中、神社のあるこの地で里人に介護され、かくまわれたといわれます。それに感謝した宗立は、最期を迎える時に自分の霊はこの地に留まり手足の病に悩むものがあれば、治して皆の守り神になろうと言い残したという伝説があります。その里人たちが宗立とその父親の甲斐宗運を祭ったことが「甲斐神社」の始まりと言われています。

〈参考文献〉

「足手荒神 甲斐神社」のホームページ <http://ashitekoujin.com/index.html>

『日本の神仏の辞典』 大島建彦（ほか）編 R162.1/才 【第1閲覧室】

『嘉島町誌』 嘉島町誌編纂委員会編 C290G/カ 【第2閲覧室】

『熊本県大百科事典』 熊本日日新聞社編 C031/ク 【第2閲覧室】

『肥後国誌 下 復刻版』 森本一瑞編 C290/エ 【第2閲覧室】

『上益城郡誌 全 復刻版』 上益城郡長編 C290G/カ 【第2閲覧室】

『上益城郡 旧鯉郷々土誌』 益城町文化財を訪ねる会編 C290G/マ 【第2閲覧室】

『熊本県神社誌』 上米良純臣編著 C175.9/カ 【第2閲覧室】

『神々の里 4 熊本県の神社 改訂版』 河辺秀治著 C175.9/カ 【第2閲覧室】



お問い合わせ 熊本県立図書館

〒862-8612 熊本市中央区出水2-5-1

TEL:096-384-5000 FAX:096-385-4214 Email:toshokan@pref.kumamoto.lg.jp

（裏面もあります。）